

一般質問事項（令和3年第7回遠賀町議会9月定例会）

◆令和3年9月6日（月）

（通告順1） 質問者 萩本 悦子 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	様々な困難を抱える人への支援について	<p>(1) ヤングケアラーへの支援について</p> <p>①本町におけるヤングケアラーの現状をどのように捉えているか。</p> <p>②本町におけるヤングケアラーの早期発見・実態を把握するため、どのような取り組みを行っているか。</p> <p>③現在、ヤングケアラーに対して、どのような支援を行っているか。</p> <p>④今後、支援を充実するための具体的な取り組みを尋ねる。</p> <p>(2) 生理の貧困について</p> <p>①「生理の貧困」について、町長の考えを尋ねる。</p> <p>②本町の現状と取り組みについて尋ねる。</p> <p>③今後の取り組みについて、どのように考えるか。</p>	<p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町長・教育長</p>

（通告順2） 質問者 田代 順二 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 政府分科会の尾身会長は、7月30日の会見で「ちょっとでも具合の悪い人がいれば、あるいは感染の心配のある人は、職場であろうが学校であろうが地域であろうが、どこでも気楽に検査ができる体制を国、自治体はその気になればできるはずなのです。これを一生懸命、ぜひやっていただきたい」と述べている。</p> <p>「地域外来・検査センター運営マニュアル」では「実施・運営主体となる保健所設置自治体ではない基礎自治体等は、関係者と十分に連携・調整し、地域の実情に応じて適宜内容に変更を加えつつ、柔軟に運用していただくようお願いする」と謳っている。</p> <p>本町でも、福岡県、医師会等関係機関と連携し、気楽に検査ができる体制づくりに取り組むべきではないか尋ねる。</p>	町長

		(2) 新学期が始まり、学校等での感染も危惧される。小中学校、保育所、幼稚園、学童保育所の教職員に対し、県が対象にしていないなら、町の負担でPCR検査を実施すべきではないか尋ねる。	町長・教育長
2	校則問題について	<p>(1) 校則が中高生や保護者との間で矛盾を深め、社会問題となりつつある。本町の教育委員会としても、校則の実態と生徒たちの声をふまえて、憲法と子どもの権利条約の見地から校則を見直す立場にたつべきではないか尋ねる。</p> <p>(2) 校則の見直しは、一片の通知だけでは本当のものにならないと思われる。教職員、保護者、生徒たちが子どもの基本的人権と教育についての真剣な議論を通じて見直しをすすめることを重視すべきと思う。その点は、どう考えるか尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>